

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年 5 月17日

【会社名】 ルネサスエレクトロニクス株式会社

【英訳名】 Renesas Electronics Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼CEO 柴田 英利

【本店の所在の場所】 東京都江東区豊洲三丁目 2 番24号

【電話番号】 03(6773)3000(代表)

【事務連絡者氏名】 企業法務・M&A部 ディレクター 橋口 幸武

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区豊洲三丁目 2 番24号

【電話番号】 03(6773)3000(代表)

【事務連絡者氏名】 企業法務・M&A部 ディレクター 橋口 幸武

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日及び内容

2021年3月19日、当社連結子会社であるルネサス セミコンダクタ マニュファクチャリング株式会社の那珂工場（茨城県ひたちなか市）のN3棟（300mmライン）の一部工程において火災が発生し、機械装置等の固定資産および仕掛品等の棚卸資産に損害が発生しました。

N3棟につきましては、2021年4月9日にクリーンルームの運転を再開し、同年4月17日に火災発生前対比で10%弱の生産能力で生産を再開しました。今後、段階的に生産能力を回復させる予定であります。

(2) 当該事象の連結損益に与える影響額

今回の火災の営業利益（注）に与える影響額として、稼働損、在庫減却費用および原状回復に向けた補修費用の発生により、第20期（2021年12月期）第2四半期までの累計で約239億円の減益を見込んでいます。

（注）上記はIFRSベースの数値です。Non-GAAPベースでの営業利益に与える影響額としては、稼働損の発生などにより、同第2四半期（累計）において約148億円の減益を見込んでいます。Non-GAAPベースは、財務会計上の数値（IFRS基準）から非経常的な項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで予想値を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

なお、第20期（2021年12月期）第2四半期（累計）においては、かかる営業利益の減益に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益についても相応の減益が見込まれます。また、上記の各影響額は、本臨時報告書提出日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断した見込額であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、今後変動する可能性があります。